

# 第1学年 音楽科学習指導案

日 時：令和5年11月22日（水）公開授業I

対象児童：滝沢市立滝沢小学校1年1組 32名

授業者：野原 美由紀

- 1 題材名 ようすをおもいうかべよう  
教材名 はる なつ あき ふゆ （教育芸術社）

## 2 題材の目標

- (1) 「はる なつ あき ふゆ」の曲想と、音色、旋律、強弱や速度などとの関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。  
〔知識及び技能〕A(1)イ・ウ(イ)
- (2) 「はる なつ あき ふゆ」の音色、旋律、強弱や速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えるとともに、場面に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。  
〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ア
- (3) 歌詞の表す情景を思い浮かべ、音色や旋律、強弱や速度と曲想との関わりを感じ取って歌うことに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。  
「学びに向かう力、人間性等」

## 3 題材について

### (1) 児童について

本学級の児童は、音楽活動に意欲的な児童が多く、歌ったり楽器を演奏したりすることに興味・関心が高い。新しい曲に取り組むことも好きで、朝の会で歌う「今月の歌」を学習することも毎月楽しみにしている。また、体を揺らしながら歌ったり、音楽に合わせて打楽器を演奏したりする楽しさも感じている。

歌唱の学習においては、「ひらいた ひらいた」や「かたつむり」で、歌詞の内容を理解したり、歌詞の表す様子や気持ちを想像したりして、身体表現しながら歌う学習をしてきた。また「うみ」の学習では、写真や動画を見て情景を思い浮かべることで、波の様子を体を揺らして表現したり、3拍子のリズムにのってゆったりと優しく歌ったりするなど、拍子のもつよさを味わうこともできた。

しかし、中には、恥ずかしがって歌声が小さくなったり、歌詞の表す様子に合った歌声でなく、ただ大きい声で歌ったりする児童も見られる。また、旋律や曲想を感じ取ることはできるようになってきたが、感じ取ったことを強弱や速度などに気を付けて表現する学習については不十分である。そこで本題材を通して、強弱や速度にも着目しながら表現の工夫をするよさを実感させたい。

### (2) 本教材について

「はる なつ あき ふゆ」は、短い歌詞ではあるが、児童にも分かりやすい言葉で四季が表現されているとともに、『ふわり』『ざぶん』『ちょろり』などのオノマトペから、語感を味わいながら様子を思い浮かべることができる。また、それぞれの季節の様子に合わせた伴奏の変化からも、曲想の変化を捉えやすい。これらのことから、言葉を丁寧に発音して歌詞を読む活動や、歌詞の表す様子を思い浮かべ、場面を想像して強弱や速度に変化を付けて歌う活動などを通して、表情豊かな歌い方を工夫させるのにふさわしい教材である。

自分の表現したい様子や気持ちを表すにはどのように工夫したらよいかを考え深めることによって、歌詞の内容や曲想を味わい、情景を思い浮かべながら曲にふさわしい表現を工夫して歌えるようにしたい。

(3) 指導について

本題材では、歌詞の表す様子を想像して、音色、旋律、強弱、速度を手掛かりに、楽曲の気分に合った表現を工夫して歌うことをねらいとする。

これまでは、音楽を表現する上で基本となる拍の流れやリズム、音程を正しく捉えることを中心に学習してきたが、ここでは、表現をより豊かなものにすることに重点を置いて展開する。

第1時では、児童の生活経験の中から、それぞれの四季についてのイメージを出し合い共有させてから、範唱を聴いたり歌詞を声に出して読んだりして4つの場面を想像させたい。また、いろいろな歌い方を試したり歌を聴き合ったりして、自分はどの季節を工夫して歌いたいか思いをもたせたい。歌詞の中に散りばめられている、歌い方を工夫するためのヒントになる言葉を基に、どのように歌いたいかという思いを引き出せるようにしたい。

第2時では、選んだ季節ごとにグループに分かれ、自分が考えた表現の工夫をグループ内で交流しながら、イメージをより鮮明なものにして歌えるようにしたい。また、互いに聴き合うことで、強弱や速度を工夫してどのように歌うかについて思いをもたせたい。

ICTの活用については、範唱を聴く際に歌詞を電子黒板で提示したり、グループで話し合った表現の工夫の仕方について、書きこんだものを電子黒板に提示したりして児童の考えを共有するなど、工夫のよりどころにしたい。

4 題材の評価規準

	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知	「はる なつ あき ふゆ」の曲想と、音色、旋律、強弱や速度などとの関わりに気付いている。 A(1)イ	「はる なつ あき ふゆ」の音色、旋律、強弱や速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えるとともに、場面に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 A(1)ア	歌詞の表す情景を思い浮かべ、音色や旋律、強弱や速度と曲想との関わりを感じ取って歌うことに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
技	思いや意図に合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 A(1)ウ(イ)		

5 題材の指導計画（2時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌い、表現の仕方を工夫する。	・知（演奏聴取）		
2 本時	・互いのよさを聴き合いながら、表現の仕方を工夫する。	・技（演奏聴取）	○思（行動観察）	・態（表情観察） （行動観察）

6 本時の指導（2時間目/全2時間）

(1) 目標

歌詞の表す様子や気持ちを想像して、表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
思考 判断 表現	自分の歌声や友達の歌声，伴奏を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，強弱や速度を工夫して，どのように歌うかについて思いをもって歌っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫したことを紙に書き込む。</li> <li>・グループでの歌の交流，聴き合い。</li> </ul>

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価	
導入 7分	1 前時想起	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で学習したことを思い出しながら「はる なつ あき ふゆ」を歌い，本時の学習につなげる。</li> </ul>	
	2 課題把握		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>【学習課題】</b> きせつのようなすが つたわるように，くふうして うたおう。</p> </div>			
展開 33分	3 解決の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の表す様子を体の動きで表現したり，声の強弱や発音に気を付けて歌ったりすることを確認する。</li> </ul>	
	4 課題解決 (1) グループに分かれて場面を分担し，表現の仕方を工夫する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇声を出しながら歌い方を考え，なぜそのように歌いたいかを話し合わせる。</li> <li>□各グループでどのように工夫をしたか，歌詞カードに書き込ませる。</li> </ul>
	(2) 各グループでどのように歌うかを紹介し，歌で発表し合う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇工夫した歌い方を互いに聴き合い，気付いたことを発表させる。</li> <li>・各グループで話し合ったことを書いた用紙を画面に映し出し，工夫したところに着目させる。（ICT活用）</li> <li>●自分の歌声や友達の歌声，伴奏を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，強弱や速度を工夫して，どのように歌うかについて思いをもって歌っている。</li> </ul>
	5 学習のまとめ ・4つの季節をつなげ，全体を通して歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫したことを，黒板にまとめる。</li> </ul>	
終末 5分	6 振り返り ・楽しかったことや頑張ったこと，分かったことなどを発表する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【例】</b> こえの大きさやはやさをくふうして，かしにぴったりのうたいかたができたので，うれしかったです。</p> </div>	

(4) 板書計画

きせつのようにすが つたわるように、くふうして うたおう。

「はる なつ あき ふゆ」の歌詞

「くふうしたこと」